

マスキングゴムの再使用を実現する

『E-cikkoa(ミニコマ)MK-2』

中農製作所

中農製作所(東大阪市
足代北一―八―二六、
☎〇七二―九八―一〇九
六九)は、五月八日(十
日)までインテックス大阪
で開催された「高機能素
材Week」に、マスキ
ングゴム向け塗料剥離用
洗浄機「minikoma
a(ミニコマ)MK-2」
を出展し、好評を博した。

同社は、半導体製造装
置やロボットなどの先進
分野をはじめ、20業種を
超える顧客の産業機械部
品試作・量産加工ニーズ
に対応する切削加工のエ
キスパートとして事業を
展開してきた。

そして現在では長年の
経験から培った技術・ノ
ウハウを駆使して洗浄機
の開発にも着手。独自の
小型部品洗浄機の「洗浄
小町」を開発するなど美
観を著実に伸ばしてい
る。

同展示会で紹介された
「minikoma MK
K-2」は、自動車の塗
装などで使用したマスキ



洗浄前①と洗浄後②

ングゴムやマスキング
ラグ・キャップなどを洗
浄して再利用を可能にす
るマスキングゴム向け塗
料剥離用洗浄機。従来で
は使用後に廃棄されてい
たマスキングゴムを甦ら
せる。

同機の最大の特長は圧
倒的な洗浄力。最大8M
Paの洗浄圧により洗浄
槽内のワークを舞い上げ
らせ、ワーク同士がぶつ
かり合うことで付着した
塗料を剥離させて洗浄
(図①参照)。洗浄後は
エアブローによる水切り
乾燥方式で乾燥させる。

こうして洗浄したマスキ
ングゴムは再度使用す
ることが可能となり、マ
スキングゴムの購入コス

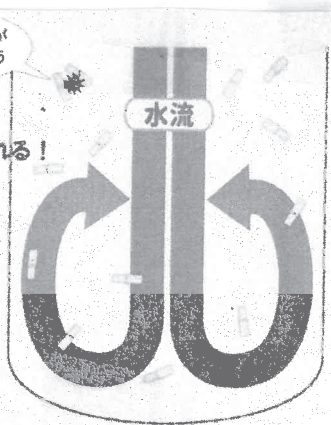
トを削減する。

洗浄には水道水(また
は工業用水)のみを使
用。液交換の際に取り扱
いが面倒な炭化水素など
とは異なり、特別な処置
が不要で処理できる。

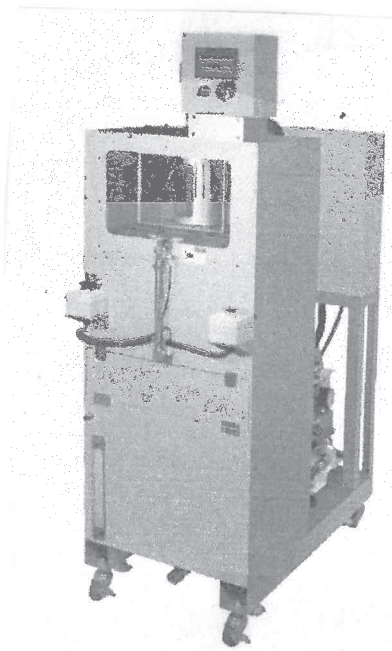
また、剥離された塗料
は塗料カス受け皿に排

出。簡単に廃棄できる上、適切な洗浄が行える。

塗料カスが溜まった際も
簡単に清掃でき、すぐに
再稼働できるなどメンテ
ナンス性にも優れる。
操作は極めて容易で、
導入後すぐに使用可能。
タッチパネルで簡単に洗
浄・乾燥時間を設定でき
塗料の付着具合に応じた
ip
<https://nakanos.co.jp>



塗装剥離の仕組み(図①)



minikoma MK-2